

令和7年度

第3回社会科教育研究部委員研修会

◇日時 令和8年2月16日(月) 14:30～

◇オンライン開催

【 次 第 】

進行：事務長

- 1 開会の言葉
- 2 部長講話及び講師紹介
- 3 講 話
 - ・「地図教室」の開催について
 - 国土交通省 国土地理院 中部地方測量部 倉田 様
- 4 議 事
 - (1) 第3回研究部代表者研修会内容伝達 (部長)
 - (2) 令和7年度社会科教育研究部事業報告 (事務長)
 - (3) 令和7年度決算報告及び会計監査報告 (会計主任)
(会計監査委員)
 - (4) 令和8年度組織及びローテーションについて (部長)
 - (5) 令和8年度事業計画及び予算計画について (事務長)
 - (6) 令和8年度夏季研究大会について (大会担当地区)
- 5 連絡事項
 - ・令和8年度委員研修会の持ち方について (部長)
- 6 閉会の言葉

令和8年度第1回社会科教育研究部委員研修会は、令和8年5月14日(木)午後2時30分からZOOM開催で行います。ただし、部長、事務長、副事務長は静岡県教育会館に参集します。13ページの通知文書を令和8年度の地区代表校長・教員に渡るようにしてください。ミーティングIDやパスコードは新年度にお知らせします。

令和8年度の地区代表校長・教員を、4月20日(月)までに、別紙様式により、令和8年度研究部長 焼津市立港小学校 多々良 博之校長まで、メールで連絡してください。令和7年度と変更がない場合でもお願いします。

駿東、静岡、湖西地区は「租税リーフ担当」の確認もお願いします。

通知文書と別紙様式のデータを、各地区の校長先生に送付します。

アドレス minato_sho@city.yaizu.lg.jp 電話 054 - 624 - 0210 FAX 054 - 623 - 5852

令和 7 年度 社会科 研究部 事業報告書

静教研三大事業

研究大会	開催方法	集合開催・会場内一部リアルタイム配信・オンデマンド配信			
	日 時	令和 7 年 8 月 6 日 (水) 9 : 15 ~ 14 : 55			
	会 場	静岡市立城内中学校・静岡市歴史博物館			
	参加者数	286人	分科会数	7	発表表数
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題 「社会的事象に主体的に向き合い、よりよい社会のあり方を追究し、創り上げていこうとする子どもの育成」 ・全体会 ・講演会 ・分科会 等の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・分科会 小学校・中学校に分かれて分科会を開催 小学校3年・小学校4年・小学校5年・小学校6年 中学校地理・中学校歴史・中学校公民 計7分科会発表 ・講 演 『静岡茶の歴史 - 茶 手揉み流派が誕生するまで - 』 講 師 中村羊一郎 氏 (静岡市歴史博物館初代館長) 				
調査研究活動	事 業 名	実施内容 (実施日・会場・内容 等)		参加者・人数等	
	8 月 6 日 (水)	夏季研究大会 (静岡) 分科会、講演会		望月雅世 " 多々良博之	
	11 月 13 日 (木)	全小社研 (群馬)			
	14 日 (金)	"			
	11 月 13 日 (木)	全中社研 (大阪)			
14 日 (金)	"				
11 月 26 日 (水)	東海社研 (三重)				
研究成果刊行	刊 行 物 名	内 容		刊行回数・頒布先・方法等	
	実践収録	夏季研究大会のまとめと各地区 (富士、志太) の実践を掲載		HP に掲載	

本年度の成果と課題

<p><成果></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季研究大会や委員研修会、成果刊行物を通して、会員それぞれの社会科における研修が深まった。特に、夏季研究大会では、久しぶりの集合開催が実現し、対面で話し合えたことで協議が盛り上がり、多くの参加者から好評の声をいただいた。各分科会とも地域教材を活用した魅力ある実践発表で、静岡市の先生方の授業づくりへの熱意を感じるものであった。中村先生の講演、静岡市歴史博物館とコラボレーションし大会後に見学できたことも大変好評であった。 ・研究成果刊行では、夏季研究大会のまとめと、富士地区と志太地区の授業実践を HP へ掲載した。「ときめきかわり 未来へつなぐ」に掲載した北原先生の授業実践を含めて、各先生方の優れた実践に触れることができた。HP 掲載は、手間や費用の面からも大幅な業務改善になっている。広く会員に周知し、伝えていけたらと考える。
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

確認事項

1 静教研全体への原稿提出物

- (1) 夏季大会報告(静岡)→提出済み
- (2) 研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」執筆(富士)→提出済み

2 令和7年度 研究成果刊行(研究集録)の確認→静教研 HP に掲載

- (1) 各地区の実践(富士・志太)
 - ・社会的事象の見方・考え方を働かせて追究する授業を目指して (小5年)
井出周平(富士市立富士川第二小)
 - ・地域教材・地域人材・市の外部機関を活用した授業づくり (小4, 5, 6年)
～郷土を知り、郷土を愛する ましづっ子の育成～
瀧澤寿子、西ヶ谷桃香(焼津市立東益津小) 篠田 肇(焼津市立焼津西小)
- (2) 夏季研究大会の記録(静岡)※上記1(1)と同様でよい。

3 令和8年度に向けての役員選出(※は校長)

賀茂	担当校長 担当教員	(R9に副事務長)
田方	担当校長 担当教員	(R9に夏季大会)
東豆	担当校長 担当教員	
三島	担当校長 担当教員	
駿東	担当校長 担当教員	副部長(会計監査)※、租税編集委員2年目
沼津	担当校長 担当教員	
富士	担当校長 担当教員	
静岡	担当校長 担当教員	副部長※、副事務長(R9事務長)、租税編集委員2年目 (R9に部長)
志太	担当校長 担当教員	部長※、事務長(R10に夏季大会)
榛原	担当校長 担当教員	会計監査※
小笠	担当校長 担当教員	
磐周	担当校長 担当教員	夏季大会実行委員長※ 事務局長、会計主任、大会報告執筆者
湖西	担当校長 担当教員	研究冊子執筆者、租税編集委員2年目

ローテーション変更内容と仕事の概略

		令和7年度まで	令和8年度以降
夏季大会開催地		変更なし（事務局の決定による） 実行委員長（校長）と事務局長、会計主任、大会報告執筆者（教員）を選出。	
部長（校長1）		変更なし 2年任期。仕事内容の把握が一番大変。	
副部長（校長2） 部長以外の地区		R6まで部長地区からも選出し 3人を選出していた	R7から部長地区は選出せず、 2人の選出とした。
		部長と副部長は研究成果物の原稿（各地区1点）を編集主任に提出する。地区の研修会等での成果物を上げる感じ。 夏季研究大会開催地区と重なった場合は提出なしとする。	
事務長（教員1）		変更なし 委員研修会の運営、資料作りが主な仕事。部長との連携が重要。	
副事務長（翌年事務長）		変更なし 事務長の仕事内容を確認していけば翌年の事務長の仕事が楽になる。	
幹事	校長1	※R8より「選出しなくてもよい」と変更。仕事もないため選出なし。	
		R6まで部長、副部長以外から 3人選出	選出なし
	教員1	R6まで事務長、副事務長 を含めて3人選出	選出なし
会計主任		変更なし（夏季大会開催地区から） おそらく、夏季大会の会計が一番大変だと思う。 その他の会計管理も書類づくり等が面倒と言えば面倒と思われる。	
会計監査（校長3）		※3地区から一人ずつ校長を選出しなければならない。 副部長や幹事は兼任してもよいが、部長は兼任できない。	
		各地区から選出 副部長が兼任 部長選出地区は選出が必要	ローテーションする。 部長選出地区と重なった場合は 調整が必要
第3回委員研修会に足を運び会計監査を行うだけ。			
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者	夏季大会開催地区から選出 大会報告執筆者と兼ねていた	事務長が兼ねる
	大会報告執筆者	変更なし（夏季大会開催地区から） 「静教研だより」9月号（夏季大会報告）とHPに掲載する夏季研究大会の まとめを執筆する。	
	研究冊子執筆者	変更なし（ローテーションによる） 「ときめき かかわり 未来へつなぐ」（2ページ分）の執筆を行う。	
租税編集委員6 各地区から教員2×3		○年目の副部長の地区から選出	○年目の会計監査の地区から選出
任期は2年。アドバイザー的な役割（感想、意見を出す）。出張はない。			

新たな課題

「夏季大会開催地区」と「部長」「事務長」の地区が重なった場合は調整が必要である。

・令和11,12年度・・・「駿東・沼津」「静岡」

令和8年度中に調整が必要と考える。

1 役員地区ローテーション

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
夏季大会開催地	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津	静岡※
部長（校長1）	静岡西	静岡		静岡東	
副部長（校長2） 部長以外の地区	静岡 静岡東	静岡東 静岡西	静岡東 静岡西	静岡 静岡西	静岡 静岡西
事務長（教員1）	静岡西	静岡	静岡東	静岡西	静岡※
副事務長（翌年事務長）	静岡	静岡東	静岡西	静岡※	静岡東
会計主任	夏季大会開催地				
会計監査（校長3）	各地区1（部長は不可、副部長は可）				
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者	事務長が兼ねる			
	大会報告執筆者	夏季大会開催地			
	研究冊子執筆者	静岡西	静岡	静岡東	静岡西
租税編集委員6 各地区から教員2×3	各地区から 小1中1	各地区から小1中1		各地区から小1中1	

※令和12年度静岡が夏季大会と事務長が重なる。11年度の副事務長を含めて調整が必要。

2 役員の役割・ローテーションの注意事項等

夏季大会開催地	実行委員長（校長）と事務局長、会計主任、大会報告執筆者（教員）を選出する。 2地区の場合は、共同で行うかどちらか単独で行うか地区で協議して決定する。	
部長（校長1）	任期は原則2年。異動等で不可能な場合も当該ブロックから選出する。 社会科研究部を統括する。研究部代表者研修会に参加し、年3回の委員研修会を運営する。全小社、全中社、東海社研、税務署等とのやりとりがある。	
副部長（校長2）	部長と副部長はHPに掲載する研究成果物の原稿（各地区1点）を編集主任に提出する。（ただし夏季研究大会開催地区と重なった場合は提出なし）	
事務長（教員1）	年3回の委員研修会を運営する。資料作成や委員との連絡が主な仕事。	
副事務長（翌年事務長）	事務長となる前年に、事務長の仕事内容を把握していく。委員研修会に参集する。	
会計主任	夏季大会の会計はもちろん、役員の旅費や会場費等の会計をまとめる。	
会計監査（校長3）	第3回の委員研修会に参集し会計監査を行う。部長は兼任できない。静岡が部長のときは、部長以外の校長を静岡地区から選出する必要がある。	
編集委員	編集主任	県事務局から送られてくる執筆依頼・原稿の書き方等を伝達し、原稿を回収する。
	大会報告執筆者	「静教研だより」9月号とHPに掲載する夏季研究大会のまとめを執筆する。
	研究冊子執筆者	「ときめき かかわり 未来へつなぐ」2ページ分の執筆を行う。夏季大会開催地と重ならないようにする。静岡東・静岡西は部長、副部長地区と重ならないようにする。
租税編集委員6 各地区から教員2×3	税務署のアドバイザー的な役割で、送付される租税資料に対して助言をする。 出張はない。任期は2年。各地区の小学校1人・中学校1人、計6人選出。	

※全国小学校社会科大会発表の依頼の可能性はある。原則、前年度の夏季大会担当地区が発表する。
全国中学校大会も同様。

1 令和7年度以降の社会科学研究部 組織ローテーションについて

- 部長は、大4地区のローテーションで回す。(スパンが長すぎるため)
 - ①富士→②三島・田方→③駿東・沼津→④東豆・賀茂
- 他の副部長、会計監査等は、基本ローテーションで回す。

(令和11年度以降副部長ローテと会計監査ローテがずれていく。)

 - ①富士→②三島→③駿東→④沼津→⑤田方→⑥東豆→⑦賀茂
- 租税編集委員は、今まで「2年目の副部長担当地区より小中各1名ずつ選出する。」としていたが、副部長不在の年もあるため、「2年目の会計監査担当地区より小中各1名ずつ選出する。」とする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
夏季大会開催地	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津※3	静岡
部長(校長1)	静岡西	静岡		駿東・沼津※3	
副部長(校長2) 部長以外の地区	駿東	沼津	田方		
事務長(教員1)	静岡西	静岡	賀茂	静岡西	静岡
副事務長(翌年事務長)	静岡	賀茂	静岡西	静岡	富士
会計主任		田方		駿東・沼津※3	
会計監査(校長3)	駿東	沼津	田方	東豆	賀茂
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者		事務長 (賀茂)		
	大会報告執筆者		田方	駿東・沼津※3	
	研究冊子執筆者	静岡西	静岡	三島	駿東
租税編集委員6 各地区から教員2×3	駿東から 小1中1	賀茂から小1中1※2		田方から小1中1※2	

※1 本来は副部長「R6富士、R7三島」であったが、「R6三島、R7富士」と入れ替わっている。
 ※2 本来は「R9田方、R11賀茂」であるが、R9に田方に役割が集中するため入れ替える。
 ※3 「駿東」と「沼津」で、「夏季大会(実行委員長、事務局長、会計主任、大会報告執筆者)」と「部長」を分担する。令和8年度までに決めておく。

2 静教研夏季大会 東部地区「担当」ローテーション

	大会担当地区	駿東・沼津	富士	賀茂・東豆	三島・田方
令和6年度	駿東・沼津	小3	小5 中公民	小6 中地理	小4(田方) 中歴史(三島)
令和9年度	三島・田方	小6 中地理	小4 中歴史	小5 中公民	小3
令和11年度	駿東・沼津				
令和14年度	富士				

1 令和7年度以降の社会科学研究部 組織ローテーションについて

○ 県部長及び事務長（副事務長）は

①志太→②磐周・湖西→③榛原・小笠の3地区ローテーション

「榛原か小笠か」及び「磐周か湖西か」は話し合いで調整

○ 他は①志太→②榛原→③小笠→④磐周→⑤湖西のローテーション

○ 租税編集委員は、今まで「1年目の副部長の地区から小中1名ずつ選出する。」としていたが、副部長不在の年もあるため、「1年目の会計監査の地区から小中1名ずつ選出する。」とする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
夏季大会開催地	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津	静岡
部長（校長1）	志太	静岡		静岡	
副部長（校長2） 部長以外の地区	静岡 静岡	湖西	志太	榛原	小笠
事務長（教員1）	志太	静岡	静岡	磐周・湖西	静岡
副事務長（翌年事務長）	静岡	静岡	磐周・湖西	静岡	静岡
会計主任	磐周・湖西		志太		
会計監査（校長3）	榛原※1	志太※1	小笠	磐周	湖西
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者	事務長 (志太)		事務長 (湖西)	
	大会報告執筆者	磐周・湖西	志太		
	研究冊子執筆者	湖西※2	静岡	静岡	志太
租税編集委員6 各地区から教員2×3	湖西から 小1中1	榛原から小1中1※1		磐周から小1中1	

【備考】※1 R8は志太が部長であるため、R9の榛原と入れ替え。租税委員は榛原のままとする。

※2 夏季大会、大会報告執筆が「磐周・湖西」である。R11の志太と入れ替えは×。

・異動等で任期2年目が不可能になった場合は、該当地区から選出する。

2 夏季大会実践発表担当地区

年 度	大会担当	志太	榛原	小笠	磐周	湖西
令和8年度	磐周・湖西	小5・地理	歴史	公民	小6	小3・4
令和10年度	志太					
令和13年度	小笠・榛原					
令和15年度	磐周・湖西					

※ 夏季大会担当地区及び榛原、湖西には配慮する。（各1分科会程度）

令和8年度 社会科 研究部 役員一覧(案)

		氏名	学校名	職名	Email	個別/共用
部長		多々良 博之	焼津市立港小学校	校長	minato_sho@city.yaizu.lg.jp	共用
副部長		駿東		校長		共用
		静岡		校長		共用
事務長		望月 雅世	焼津市立豊田中学校	教諭	toyoda_chu@city.yaizu.lg.jp	共用
副事務長		静岡		教諭		共用
幹事	校長					
	教職員					
会計監査		副部長(駿東)		校長		共用
		副部長(静岡)		校長		共用
		榛原		校長		共用
研究大会	実行委員長	金原 辰夫	袋井市立今井小学校	校長	imai-s@orange.ocn.ne.jp	共用
	事務局長	杉枝 友哉	袋井市立袋井北小学校	教諭	kita-s@orange.ocn.ne.jp	共用
編集委員	主任	望月 雅世	焼津市立豊田中学校	教諭	toyoda_chu@city.yaizu.lg.jp	共用
	大会報告執筆者	磐周		教諭		共用
	研究冊子執筆者	湖西		教諭		共用
	研究部成果刊行物責任者	望月 雅世	焼津市立豊田中学校	教諭	toyoda_chu@city.yaizu.lg.jp	共用
会計	主任	磐周		教諭		共用
	夏季大会	〃	〃	〃	〃	共用
評議員		部長と事務長は評議員を兼ねる				

令和8年度 社会科 研究部 事業計画書 (案)

静教研三大事業

研 究 大 会	開催方法	集合開催・リアルタイム配信				
	日時	令和 8年 8月 5日 (水) 午後				
	会場	磐田市ながふじ学府小中一体校				
	参加者数	200	分科会数	6	実践発表者数	6
	内容	集合：大会役員、磐周地区参加者、各地区発表関係者（発表者・助言者等） オンライン：その他の参加者 ・全体会 ・講演会 ・分科会等の概要 ・研究主題 「社会的事象に主体的に向き合い、よりよい社会のあり方を追究し、創り上げていこうとする子どもの育成」 ・分科会 小学3・4年、小学5年、小学6年 中学地理、中学歴史、中学公民 計6分科会発表 ※発表20分、協議45分、指導講評10分（計75分） ・講演 講師 山田 大記 氏（NPO法人ReFrame 副代表、ジュビロ磐田CRO）				
調 査 研 究 活 動	事業名	実施内容（実施日・会場・内容等）			参加者・人数等	
	8月 5日 (水)	夏季研究大会（磐周）			1	
	10月 8日 (木)	全中社研（福島）				
	10月 9日 (金)	〃				
	11月19日 (木)	全小社研（徳島）			1	
	11月20日 (金)	〃				
	2月 4日 (木)	全小社研（京都）				
2月 5日 (金)	〃					
研 究 成 果 刊 行	刊行物名	内容			刊行部数・頒布先・方法等	
	実践収録	夏季研究大会のまとめと各地区（駿東、静岡、志太）の実践を掲載する。			HPに掲載	

研究部内の会議（研究部委員研修会）等

予定日時	会場・方法	事業計画の概要	参加予定人数
5月14日 (木)	県教育会館・オンライン開催	第1回委員研修会 組織、三大事業 等	26名
10月中旬	県教育会館・オンライン開催	第2回委員研修会 夏季研究大会報告 等	26名
2月中旬	県教育会館・オンライン開催	第3回委員研修会 研究大会報告 等	26名

1 趣旨

- ・ 静教研三大事業の1つとして、社会科教育研究部の研究・実践・取組等の成果を会員に広げ、本県社会科教育の発展に寄与する。

2 刊行物

- ・ 静岡県教育研究会HPに「研究集録」をアップする。
- ・ 各地区は各校の会員が活用できるよう広報する。

3 研究集録の内容（及び担当）

(1) 各地区の実践（部長及び副部長）

- ・ 部長及び副部長が自地区の実践を1つずつ（静東、静岡、静西から1つずつ）
- ・ 小中の別、形式・内容は問わない。ページ数も問わないA4 1枚でもよい。
- ・ 当該年度に取り組んだ実践や、地区の研修会で発表されたものを掲載する。

(2) 夏季研究大会（大会報告執筆者）

- ・ 「静教研だより9月号」の原稿と同様でよい

(3) その他

- ・ 必要と思われるもの

(4) 取りまとめ担当（編集主任）

- ・ 部長及び副部長は12月末までに編集主任に提出する。
- ・ 編集主任は各地区の実践と夏季研究大会の記録をHPにアップする。

4 その他

- ・ 部長及び副部長が夏季研究大会開催地区と重なった場合は、各地区の実践は掲載しなくてもよい。（例：令和7年度の静岡市）
- ・ 教員や児童生徒の写真、氏名等個人情報に注意する。
- ・ その他事情により、各地区の実践が掲載できない地区があってもよいとする。（研究部長と相談する。）

その他の静教研全体への原稿提出

研究成果刊行について<2>

1 「静教研だより9月号」

- ・ 締め切り 8月 日（ ）
- ・ 担当 大会報告執筆者（夏季研究大会実施地区）R 8は磐周
- ・ 内容 夏季研究大会のまとめ
- ・ 形式、提出方法 静教研事務局より提示される

2 研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」

- ・ 締め切り 10月 日（ ）
- ・ 担当 令和8年度は「湖西」
- ・ 内容 研究実践
- ・ 形式、提出方法 静教研事務局より提示される（A4 2ページ）

令和8年度 (社会科) 研究部 予算書 (案)

	科 目	予 算 額	積 算 内 容
A 研究大会費	1 謝金	56,000	講 師 56,000円× 1 人
	2 旅費		講 師 円× 1 人
			役員旅費 円 ※学校予算で計上
	3 借料・損料	418,000	会場借料 円
			配信業者損料 418,000 円
	4 資料費		
	5 通信運搬費	1,000	振込手数料
	6 賃金		
7 需用費	17,000	昼食代 (6 分科会助言者) 、事務用品代	
	小 計	492,000	
B 調査研究費	1 謝金		講 師 円× 人
	2 旅費	78,000	講 師 円× 人
			役員旅費 全小社研京都大会 役員派遣 1 名 交通費22,000円 宿泊12,000円 全中社研福島大会 役員派遣 1 名 交通費32,000円 宿泊12,000円
	3 借料・損料		会場借料
	4 資料費	10,000	
	5 通信運搬費		
	6 賃金		
	7 需用費		消耗品等
	小 計	88,000	
C 研究成果刊行費	1 旅費		編集委員 円× 人
			役員等
	2 借料・損料		会場借料
	3 資料費		
	4 通信運搬費		
	5 賃金		
	6 需用費		消耗品等
	小 計	0	
D	研究用図書購入費		
E	A+B+C	580,000	
F	研究部内の会議費等		委員研修会費・通帳(研究部)手数料等
G	総 計	580,000	

令和 8 年度 研究大会計画書

社会科教育 研究部

部長名 多々良 博之

開催日 (配信期間)	令和 8 年 8 月 5 日 (水) 午前・ <input type="checkbox"/> 午後・ <input type="checkbox"/> 終日	
開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 集合開催 <input checked="" type="checkbox"/> リアルタイム配信・ <input type="checkbox"/> オンデマンド配信 <small>ハイブリッドの場合は複数に○を</small>	
会 場	磐田市ながふじ学府小中一体校 438-080 静岡県磐田市加茂 243 <input checked="" type="checkbox"/> 集合会場・ <input checked="" type="checkbox"/> 配信会場・ <input type="checkbox"/> 録画会場	
大会テーマ	社会的事象に主体的に向き合い、よりよい社会のあり方を追究し、創り上げていこうとする子どもの育成	
内 容	集合：大会役員、磐周地区参加者、各地区発表関係者（発表者・助言者等） オンライン：その他の参加者 1 分科会 小学 3・4 年、小学 5 年、小学 6 年 中学地理、中学歴史、中学公民 計 6 分科会発表 ※発表 20 分、協議 45 分、指導講評 10 分（計 75 分） 2 全体会 基調講演（75 分）含む ※分科会数 （ 6 ） ※協議の場 （ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ）	
講 演	講師氏名	山田 大記
	所属・肩書き	NPO 法人 ReFrame 副代表、ジュビロ磐田 CRO
令和 9 年度研究大会の開催地域		令和 1 0 年度研究大会の開催地域
田方地区		志太地区
全国大会等の有無	令和 年度（全国・東海北陸・中部地区・関東甲信静）大会	
備 考	令和 8 年度 大会実行委員長（予定） 氏名（ 金原 辰夫 ） 校名（ 袋井市立今井小学校 ） E-mail（ imai-s@orange.ocn.ne.jp ） 令和 8 年度 大会事務局長（予定） 氏名（ 杉枝 友哉 ） 校名（ 袋井市立袋井北小学校 ） E-mail（ kita-s@orange.ocn.ne.jp ）	

※ 11月14日（金）〆切で事務局（seikyoken@iris.ocn.ne.jp）に提出。（現時点での案で可）

※ 書式は静教研ホームページに掲載してあります。

※ R8大会実行委員長説明会を12月中にZoomにて開催します。詳細は追って連絡します。

静教研社会科研究部第1号
令和8年3月31日

関係学校長 様

静岡県教育研究会
会長 室伏 伸明
同 社会科研究部
部長 多々良 博之

令和7年度静岡県教育研究会社会科教育研究部第1回委員研修会
の開催について（通知）

このことについて、下記により開催します。
ついては、貴職または関係職員の出席に御配慮願います。

記

- 1 日 時 令和8年5月14日（木） 午後2時30分から
ZOOM 開催
※ミーティング ID とパスコードは新年度にお知らせします。
※部長、事務長、副事務長は13:30に静岡県教育会館に参集してください。
- 2 参加者 各地区代表校長、教員
(新年度に入りましたら名簿を送付します。)
- 3 内 容
 - ・部長講話
 - ・今年度の研究部活動計画に関する研究協議
 - ・その他
- 4 その他
 - ・参加・不参加について、別紙（次ページ）に記載し事務長までFAXで提出をお願いします。（5月8日（金）まで）
 - ・資料については5月12日以降に静教研HPからダウンロードをしてください。

担 当
焼津市立豊田中学校
事務長 望月 雅世
電 話 054-627-1166
F A X 054-626-1934

F A X 送 信 票	
送信日時	令和 8年 月 日 ()
送信先	静教研 社会科研究部 事務長 焼津市立豊田中学校 望月 雅世 宛
	FAX 054-626-1934
要件	社会科教育研究部第1回委員研修会の参加報告
連絡事項	静岡県教育研究会 社会科教育研究部 第1回委員研修会 (ZOOM 開催) に参加 します ・ しません
送信部数	本票のみ
発信者	学校名 市立 学校 氏 名

5月8日(金)までにご送信ください。

地域名	職名	氏名	学校名	〒	学校住所	電話番号	FAX	メールアドレス
	研究部長	校長 多々良 博之	焼津市立港小学校	425-0042	焼津市石津港町40-2	054-624-0210	054-623-5852	minato_sho@city.yaizu.lg.jp
	事務長	教諭 望月 雅世	焼津市立豊田中学校	425-0086	焼津市小土301-2	054-627-1166	054-626-1934	toyoda_chu@city.yaizu.lg.jp
1	賀茂	校長						
		教諭						
2	田方	校長						
		教諭						
3	東豆	校長						
		教諭						
4	三島	校長						
		教諭						
5	駿東	校長						
		教諭						
6	沼津	校長						
		教諭						
7	富士	校長						
		教諭						
8	静岡	校長						
		教諭						
9	志太	校長 多々良 博之	焼津市立港小学校	425-0042	焼津市石津港町40-2	054-624-0210	054-623-5852	minato_sho@city.yaizu.lg.jp
		教諭 望月 雅世	焼津市立豊田中学校	425-0086	焼津市小土301-2	054-627-1166	054-626-1934	toyoda_chu@city.yaizu.lg.jp
10	榛原	校長						
		教諭						
11	小笠	校長						
		教諭						
12	磐周	校長 金原 辰夫	袋井市立今井小学校	437-0052	袋井市太田692	0538-42-2950	0538-43-2317	imai-s@orange.ocn.ne.jp
		教諭 杉枝 友哉	袋井市立袋井北小学校	437-0061	袋井市久能1580	0538-42-3024	0538-43-5474	kita-s@orange.ocn.ne.jp
13	湖西	校長						
		教諭						
	会計	教諭						
租 税 リ ー フ 担 当	静岡小学校	教諭 倉澤 優司	御殿場市立神山小学校	412-0033	御殿場市神山478-2	0550-87-0033	0550-87-0598	kouyama-es04@cy.tnc.ne.jp
	静岡中学校	教諭 松永 圭司	裾野市立西中学校	410-1118	裾野市佐野450	055-992-0157	055-992-2010	1c-nishi@ms.susono.ed.jp
	静岡小学校	教諭 木内 敦	静岡市立長田東小学校	421-0112	静岡市駿河区東新田三丁目10-1	054-259-7516	054-257-8932	osadahigashi-ee@shizuoka.ednet.jp
	静岡中学校	教諭 尾崎 弘剛	静岡市立両河内小中学校	424-0403	静岡市清水区和田島303	054-395-2321	054-395-2322	shimizuryougouchi-i1@shizuoka.ednet.jp
	静岡小学校	教諭 新村 礼斗	湖西市立新居小学校	431-0302	湖西市新居町新居1770	053-594-0058	053-594-2639	araie@city.kosai-szo.ed.jp
	静岡中学校	教諭 西田 純也	湖西市立鷺津中学校	431-0431	湖西市鷺津629	053-576-0032	053-576-0782	washizujh@city.kosai-szo.ed.jp

◎記入例を参考に、ご自分の地区のところに校長、教諭それぞれ入力してください。

- ・すべての項目を入力してください。
- ・数字等（郵便番号、番地、電話番号、FAX、メールアドレス）はすべて半角をお願いします。
- ・メールアドレスは個人のメールよりも学校のメールが望ましいです。（個人のものでは送信されない場合があります）
- ・メールアドレスに間違いがないかチェックをお願いします。

◎駿東、静岡、湖西地区は租税リーフ担当の所属先の確認をお願いします。

- ・2年任期で、令和8年度は2年目となりますので、基本的に継続となります。
- ・所属先が変われば（異動したら）着色部分を修正してください。
- ・担当者を変更する場合は、氏名から修正をお願いします。

締め切り 令和8年4月20日（月）メールによる
送付先 令和8年度研究部長 焼津市立港小学校長 多々良 博之

15